

# シニア デジタル達人伝



①

「お年寄りにパソコンなんて100年早いですよ!」と言われて続けて20年。老テク研究会は米国の非営利団体「シニアネット」に倣い、65歳以上を対象にパソコンや携帯電話などの活用方法を伝えるボランティア活動を行ってきた。

今では、全国各地にシニアパソコンクラブがあり、高齢者向けのパソコン講習会やスマートフォン講座は大人気。デジタル情報機器を使いこなす高齢者は増え、インターネットの電腦空間は国境を超え、高齢社会の未来を急速に変えつつある。

高齢者がパソコン活用術を習得し、インターネットを通じて異なる世代や地域の友人と出会い、新たな役割を獲得している。

パソコン

## 衰えを補う多彩な機能



老テク研究会の主催イベントで行ったネット利用の実況放送＝東京都渋谷区

趣味や特技を生かした仕事や、社会貢献活動から新たな生きがいを発見しているのだ。

パソコンには「老化による衰え」を補う機能も多い。高齢になれば小さな文字が読みにくく、耳も聞こえにくくなる。病

趣味的な特技を生かした仕事や、社会貢献活動から新たな生きがいを発見しているのだ。

パソコンには「老化による衰え」を補う機能も多い。高齢になれば小さな文字が読みにくく、耳も聞こえにくくなる。病

このコラムを通じて、高齢デジタル達人たちの知恵や工夫を紹介したい。



支援。

こんにちは。のりこ 1955

年埼玉県生まれ。

国内外のシニア

ネット団体の交流を

近藤 則子 (老テク研究会事務局長)